

活動支援金のご協力をお願い

3・11の東北地方太平洋沖地震の災害支援にあたり、災害救援ネットワーク北海道では、活動支援金を受付しています。

今回は、甚大な被害のため、状況を見て、多くの方のいのちをつなぐことと食べることに焦点をしばり、炊き出しを中心に活動していました。

(3月23日～7月12日で累計 43,452食。1日あたり 505食)

震災から9か月が過ぎ、ライフラインである電気、ガスが復旧しつつあり、水は、7月に復旧しました。

でも、まだまだ、いろんな支援体制は必要です。

町は、壊滅的なので、日常の食材や日用品を買いに行くのに、隣町まで、1時間以上かかります。

職のない方々もいます。食材、物資の行きとどいてない孤立した地区に住んでる方もおられます。

最近では、炊き出しに合わせて、自炊を支援するために、基本調味料や米、味噌、日用品コーヒなどの嗜好品を戸別に訪問して配りながら住民の方とコミュニケーションをはかっています。

流通が可能な部分は、雇用を活性化するためにも、燃料や食材、調味料など、割高でも出来る限り、購入しています。

食材、調味料、衛生用品、支援物資の運搬や炊き出しの拠点への移動に必要な燃料費、車のレンタル料、フェリー代、炊き出し用燃料、事務用品、機材、道具など。

また、地元の復興を願い寄り添い、被災地での直接の支援にあわせて、次の構想があります。

仮設住宅の居住期限の2年後、行き場のない人たちが出てくるのを見越して、北海道十勝清水にて、被災者の方を受け入れ、共に作る村づくりも、災害救援ネットワーク北海道では、徐々にすすめていきます。

詳しくは、活動の様子をつづった本サイトを参照して下さい。活動の報告もあわせて掲載しています

